

# あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会  
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 阿部 和彦  
編集人 小川 剛

〒379-2166  
群馬県前橋市野中町361番地の2  
(群馬県勤労福祉センター2F)  
TEL 027-263-0555  
FAX 027-261-0549  
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp  
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2010年2月号  
No.180

## 2010新春労使共同セミナーを開催!!

事業の発展なくして従業員の幸せなし、従業員の努力なくして事業の発展なし!

1月19日、前橋テルサにおいて群馬県経営者協会との共催で「2010新春労使共同セミナー」を開催し、労使で約400名が参加しました。

今回で8回目となるこの取り組みは、新年を迎え労使が共有するテーマを学習しお互いの認識を深め、より一体感を高めるとともに更なる連携の強化を目的に開催しています。



大橋会長

### 【連合群馬 大橋会長あいさつ】

労使の安定と信頼関係により、全国でもまれな労使共同セミナーが開催できることに感謝します。春季生活闘争の中では組合員・経営者のみなさんが、それぞれの企業や業界における課題を共有し、事業を発展させるために、労使が協力し合うことが重要です。

連合群馬は20周年を迎え、これまでの皆様方のご理解とご協力・ご指導に心から感謝するとともに、信頼され頼りにされる連合運動を展開し、安心して暮らせる地域社会の実現に向け取り組みます。

### 【経営者協会 牛久保会長あいさつ】

事業仕訳ではないが、聖域を設けずあらゆる見直しで無駄を徹底的に無くし、変化に対応できる力をため込む時期だと感じています。



牛久保会長

また、経済情勢が厳しい中、雇用問題も山積しており、労使関係の安定をはかり労使の一体感により自社の経営課題に取り組む必要性を感じています。引き続きのご協力をお願いしたい。

今年は、拓殖大学海外事情研究所所長の森本敏氏を講師に迎え、「国際情勢と日本の課題～我々はどう対応すべきか～」の演題で講演を受けました。政権交代に

より事実上停滞しているとされる日米関係への危惧を示し、参加者に「もう少し外に目を向け、どう対応すべきか、一人ひとりが真剣に考える時期である」と呼びかけました。また、核軍縮、アフガニスタンや、北朝鮮、普天間基地の問題などを取り上げ、「2012年は、日本を取り巻く米国や中国、ロシアなどの連携国は、大きな転換期を迎える」と指摘するなど多岐にわたる内容を語られました。

その後の交流会では、参加者が一堂に会し労使や企業の枠を超えてそれぞれに情報交換や交流を深めました。



講師：森本 敏 氏



勇壮な演奏をする「つゆ草」のみなさん



乾杯の発声をする吉田副会長



鏡開き：左から牛久保会長・大澤知事・大橋会長